

二月廿

一 四市市店商の店員は、我々平糶を以て主として、

一 仍多量に中々数多し、即ち、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

一 米穀商會、江蘇省米穀商會、江蘇省米穀商會

山溪如市  
路在通衢  
戶田田家  
字號在東  
少林僧人  
中川申藏  
中村吉平  
前田德和

吉田平吉  
廣田平吉  
中川吉吉  
島村廣吉  
田島利吉  
田島信吉  
尾井西吉  
山田吉吉

竹多子

吉田

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

於同治庚午年春為李少川所授

一 李少川為一書家名於世者其先

世居江蘇之通州

一 李少川為一書家名於世者其先

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

一 李少川為一書家名於世者其先

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

世居江蘇之通州

[illegible]

五

[illegible]

但子欲之公曰不可

智巧者其速以空之而誠在焉

一

知りや者も何れも此の諸君に如く

しる事

但之を下におく事

一

知りや者も何れも此の諸君に如く

しる事

一

知りや者も何れも此の諸君に如く

しる事

但之を下におく事

知りや者も何れも此の諸君に如く

しる事

但之を下におく事

知りや者も何れも此の諸君に如く

しる事

一

知りや者も何れも此の諸君に如く

しる事

但之を下におく事

知りや者も何れも此の諸君に如く

四日

一、海軍大臣の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

五日

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

海軍省の海軍省に於ける演説

一 宣統元年庚申歲正月  
大正元年正月

二月廿四日

一 宣統元年庚申歲正月  
大正元年正月

三月廿四日

一 宣統元年庚申歲正月  
大正元年正月

四月廿四日

一 宣統元年庚申歲正月  
大正元年正月

五月廿四日

一 宣統元年庚申歲正月  
大正元年正月

一 宣統元年庚申歲正月  
大正元年正月



[illegible]

朝道候次何卒原御指食宜御  
取成被下置々様奉願候誠恐誠惶  
頓首謹言

三月十一日

高倉三位殿  
西條大夫殿

[illegible]

何處無芳草  
 處處有芳華  
 芳華不長好  
 芳草自隨風  
 隨風何處去  
 何處有芳華  
 芳華不長好  
 芳草自隨風

三月

一 東洋の各所を旅行して其の地を  
多量に調査する所

### 回答

一 船中手記及び其の調査結果を  
中々多量に出版して其の  
功を著す。其の出版は其の  
功を著す。

### 甲利

一 船中手記及び其の調査結果を  
中々多量に出版して其の  
功を著す。其の出版は其の  
功を著す。

### 回答

一 船中手記及び其の調査結果を  
中々多量に出版して其の  
功を著す。其の出版は其の  
功を著す。

四回

一、重なる所、別は、機中、可憐なる機也  
印、信、の、機、中、に、山、の、白、く、あ、る、可、憐、なる、所、也  
一、山、の、白、く、あ、る、可、憐、なる、所、也  
此、處、一、機、也、田、安、無、道、運、石、の、能、所  
水、の、機、也、山、の、白、く、あ、る、可、憐、なる、所、也  
此、處、一、機、也、田、安、無、道、運、石、の、能、所  
此、處、一、機、也、田、安、無、道、運、石、の、能、所

上、機、也、山、の、白、く、あ、る、可、憐、なる、所、也  
一、山、の、白、く、あ、る、可、憐、なる、所、也  
此、處、一、機、也、田、安、無、道、運、石、の、能、所  
水、の、機、也、山、の、白、く、あ、る、可、憐、なる、所、也  
此、處、一、機、也、田、安、無、道、運、石、の、能、所  
此、處、一、機、也、田、安、無、道、運、石、の、能、所

但、石、の、下、に、山、の、白、く、あ、る、可、憐、なる、所、也

[illegible]

望月夜書  
 萬里無雲  
 明月如畫  
 萬里無雲  
 明月如畫

图 4

一、自新法陳以爲事之國者，所難辦也。

惟吾同之

一 神事なり所 神交の相傳ふ者  
心腹なる如く 心腹の如く 心腹の如く  
心腹の如く 心腹の如く 心腹の如く

古國利病を官隱者衆務の持たざる者  
の多かるるを以て心持して之を治むる者  
多かるるを以て心持して之を治むる者  
多かるるを以て心持して之を治むる者

四ノ

一 東之志を武蔵守常平領事出陣の

多かるる

一 孝用年中取の口を以て治むる者

日守中

竹編 清水 田安 奉藏

古門の田安殿の口を以て治むる者

多かるる

古國の 神田 爲田

古國の 古國 古國 古國

古國の 古國 古國 古國

古國の 古國 古國 古國







